



チーム「力」



教頭 杵田昌巳

4月に毛呂山特別支援学校より着任しました、教頭の杵田昌巳と申します。

今年の本庄特別支援学校は、新元号「令和」元年を迎え、学校開設40年目と歴史に残る年となります。この記念する現場に巡り合えたことへの喜びの気持ちでいっぱいです。

また、これまでの伝統を礎に、新たにコミュニティ・スクールとして、保護者・地域と協働し、児童生徒の豊かな成長を支える「地域とともにある学校」を推進し、社会に開かれた教育活動の実現と充実に向け、微力ながら力を注いで行く所存です。

さて、このところ陸上競技界では、日本男子4×100mリレーのバトン技術が、お家芸として世界で注目されています。こんな刺激を受け、先日行われた埼玉県特別支援学校体育連盟陸上競技大会で、本校男子4×100mリレーが2位・女子4×100mリレーが優勝することができました。アンカーの諦めない力走で優勝を手中にした瞬間、誰もが鳥肌を立てて感動しました。生徒それぞれの持つ力量は目立たなくても、バトンゾーンを活かした加速する力や、次走者にバトンをしっかり繋ぐ思い、その一人一人の気持ちが一つにまとまり実った瞬間だと思います。みんなの力を合わせて集中するチーム「力」は、何倍にも増幅され、総合優勝2連覇という快挙を成し遂げることができました。

勿論、この生徒たちの力量の影には、指導者との信頼関係が無くては成しえられなかったことと思います。その苦労は半端なものでなく、冬の寒い日・夏の暑い日・風の強い日・雨の日でも毎日休むことなく、生徒たちは指導者を信じて、また、指導者も生徒たちを信じて、毎日の練習に力を注ぎました。保護者の皆様には、生徒の帰宅時間が遅くなり、また、練習の疲れをフォローしていただき、御心配をお掛けしてしまった一面も多かったことと思われまふ。しかし、この家庭での支援そのものが、生徒たちに学校を信頼させる唯一の力になっていることは間違えありません。日常の何気ないやりとりから生まれる関係が循環し、学校・児童生徒・教職員・家庭・地域へと、その輪が広がり一体となって支え合い児童生徒の豊かな成長に繋がっている大切さを改めて確認することができました。

これからも、新元号令和に相応しく進化し続ける本庄特別支援学校を目指し、想像を超えたチーム「力」の実現、みんなの力を合わせて協働する「地域とともにある学校」の運営に繋がられたらと考えております。

今後とも、より一層の御理解・御支援の程よろしくお願ひいたします。



今月号は、各学部の方針や最近の様子を紹介します！

【小学部】

『信 頼』（心配よりも信頼を！）

小学部教育の指導・支援は多々ありますが、その中でも基本となるものは子どもたちへの言葉かけです。小学部では『分かりやすさ』をモットーに、否定的ではなく肯定的に（「走らない」ではなく「歩きます」等）取り組んでいます。それから『自己肯定感』を持って生きていって欲しく思うので、「大丈夫かな？」「できるの？」「うまくいかなかったらどうするの？」等の“心配”する言葉かけではなく、「大丈夫！」「できるからやっごらん！」「きっとうまくいくよ！」等の“信頼”する言葉をたくさんかけるようにしています。子どもたちへの信頼こそが、前向き思考の子どもを育てる基盤だと考えるからです。当然のことながら、家庭と学校との協働にも信頼関係は必要不可欠だと思います。授業参観や学校公開等の機会は勿論のこと、何かあった時だけでなく、時間の許す限り保護者の皆様との直接対話を心がけ、信頼関係作りにも尽力したいと考えています。それぞれ向き、不向きはあるかもしれませんが、私たちの姿勢は「Just do it. (とりあえずやってみよう)」、いつもポジティブで前向きです。（小学部主事 沢野孝夫）



【中学部】

『和を以って・・・令和スタート』

令和元年度も始まり、中学部にも新たに活動的で笑顔の素敵な16名の1年生が入学し、1名の3年生が転学してきました。また、新2、3年生も新たな学年を迎え、更に中学部の生徒として心も身体も成長している姿を感じさせてくれています。中学部では、生徒が「自らすすんで取り組める授業」を心掛け、そのために必要な指導・支援を学部職員で取り組んでいます。今年度も中学部職員18名で「和を以って・・・」の精神でお互いに協力し生徒一人ひとりの成長のために一致団結していきたく思います。今年度の中学部の取り組みとしてですが、新学習指導要領を踏まえて、引き続き生徒の将来に向けて3年間を見通して学習を段階的に計画的に取り組んでいきたくと考えています。「職業・家庭」「作業学習」の学習を中心に将来へ身につけてほしい力を伸ばしていきます。また「生活単元学習」の授業内容も学部全体で考えて将来に結び付けるよう高等部に向けても考えていきます。その中で生徒の自主的・自発的な活動となるよう取り組んでいる「みんなの時間」を昨年度同様に保護者の方々にもご覧になっていただこうと思ひ授業参観を計画しています。最後になりますが、今年度も昨年度に引き続き、保護者の皆様のおかげで御支援・御協力を心よりお願ひ申し上げます。（中学部主事 新井政和）





【高等部】

『自立』

令和元年、高等部には35名の新入生が入学し計91名となりました。本校で類型別の教育課程となっており、7年目に突入して定着し生徒もみな生き生きと学習活動に取り組むことができている。高等部は、学校生活最後の学部となります。新しい令和の時代に自立した生活を送ることができるよう、自己理解(1年)・自己選択(2年)・自己決定(3年)と各学年で段階を踏まえて日々の学習に取り組み、生徒の自立に向けて高等部職員一丸となり支援に取り組んでいます。5月は、特別支援学校陸上大会での連覇をめざし練習を繰り返し行うとともに、6月1日に行われる運動会に向けて精力的に練習に取り組んでいます。また、今年度試みとしては、マリーゴールドの丘のひまわり畑の管理、本庄市の高校が集う6高祭が7校祭になり本校高等部も本格的に参加することになりました。作業製品の頒布及びデュアルシステムの発表等を行う予定です。(高等部主事 三村泰博)



【自立活動部】

『個』

自立活動部は、特別支援教育コーディネーターを含む担任外職員6名で構成され、各学部の「自立活動」の授業や日常生活の指導等を担任とともにを行っています。「自立活動」とは、児童生徒によって目標や学習内容が異なる「個別の学習」に取り組む時間です。どのような力が身につけば、充実した日常生活や学習を進めることができるのか、という視点を持って目標を設定し、得意なところ・苦手なところを踏まえ、個のねらいに応じた指導・支援を行っています。今年度も、児童生徒の「個」に焦点をあて、児童生徒一人一人が主体的に活動できる支援を進めて参りたいと考えています。保護者の皆様の御理解・御協力をお願いいたします。(自立活動部長 渡邊有美子)

6月・7月の予定

6月			7月		
1	土	運動会	1	月	
2	日	第1予備日(運動会)開校記念日	2	火	小体験入学1日目
3	月	振替休業日	3	水	
4	火	はーと教室(親)	4	木	中1・2校外宿泊学習(～5日) 小体験入学2日目
5	水		5	金	小2夕涼み会 中・進路説明会
6	木		6	土	
7	金		7	日	
8	土	第2予備日(運動会)	8	月	
9	日		9	火	高1社会体験 中体験入学 高3修学旅行説明会
10	月	高2職場見学	10	水	防犯教室(児童生徒向け)
11	火	高1職場見学 引き渡し訓練	11	木	
12	水	心臓検診(全学部1年のみ)就学関係研修	12	金	
13	木		13	土	
14	金		14	日	
15	土		15	月	海の日
16	日		16	火	高2社会体験
17	月	産業現場等実習(～28日)	17	水	介護等体験オリエンテーション(AM)
18	火		18	木	短縮 11:30 下校
19	水		19	金	短縮 11:30 下校 終業式
20	木	小3校内宿泊(～21日) 福祉サービスセミナー	20	土	
21	金		21	日	
22	土		22	月	
23	日		23	火	はーと教室(子・1000-1100)
24	月	学校説明会(小中)	24	水	親子作業所見学会
25	火	第1回学校公開(～26日)	25	木	
26	水	小4・5校外宿泊(～27日)	26	金	
27	木		27	土	
28	金		28	日	
29	土		29	月	
30	日		30	火	
			31	水	



お願い：運動会当日、自動車でお越しの方は、指定された駐車場にとめてください。